

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日 更新

事務事業名		男女共同参画推進研修事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	23	人権が尊重される社会づくり			所属課	総務課	担当者名	猿渡祥子
	基本事業	77	男女共同参画社会に対する理解の促進			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目		会計一般	款2	項1	目15	事業連番10909	法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例	
終了、開始年度		☒ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		
							成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	①男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業(熊本県主催) 事前研修(1日)、本研修(3泊4日)、事後研修(1日)参加者に補助金を交付し、研修で得た知識・手法を生かしてまちづくりを推進する地域リーダーを育成する事業。 ※平成26年度は市民1名が参加した。 ②熊本・菊池地域男女共同参画地域連絡会議 県地域振興局、市町の男女共同参画担当者及び市民代表で熊本・菊池地域の男女共同参画の推進を図る事業。 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
【業務の流れ】	(1)男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業 ①広報にて参加者を公募 ②応募者に対して決定通知を送付 ③参加者が事前研修・本研修(視察、講演会等)・事後研修に参加 ④参加者が報告書を作成 ⑤県知事を「地域リーダー」として市の男女共同参画推進イベントや審議会・委員会などへの協力を要請 ⑥参加者を「地域リーダー」として市の男女共同参画推進イベントや審議会・委員会などへの協力を要請 (2)熊本・菊池地域男女共同参画地域連絡会議 担当職員が出席して情報収集・情報交換を行う。
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO) 男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業(熊本県主催)に市民1名が参加したことにより、市民にリーダー的な活動をする人の育成が果たした。		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様であるが、職員1名も研修へ参加する。 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→	ア	「男女共同参画まちづくり講座事業」への統合に伴う減。
→	イ	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
地域リーダー研修の参加者(育成対象)、市民(研修の成果を享受する対象)	ア	→
→	イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
研修で得たものを地域の男女共同参画推進のために生かす。	ア	地域リーダー育成研修を有意義と感じた参加者の割合
→	イ	パーセント
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
研修に参加し、その中で得たものについて地域、職場、懇話会等に応えることが事業の意図であるので、研修に参加して有意義と感じた人数と研修に参加した人数により成果指標を設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標		アイ								
② 対象指標		アイ								
③ 成果指標		アイ	100	100	100	100	0	0	0	0
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	63	56	60	22			
		(A) 事業費計	千円	63	56	60	22	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	4	3	3	0	0	0
延べ業務時間		時間	120	27	130	110	0	0	0	
(B)人件費計		千円	488	107	517	438	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	551	163	577	460	0	0	0	

事務事業名	男女共同参画推進研修事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 「男女共同参画まちづくり講座事業」「男女共同参画推進啓発誌発行事業」「男女共同参画推進研修事業」は一体化している事業であり、包括して一事業と捉えることが可能。平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県地域リーダー育成事業は、県が予算を決め、県が費用の1/3を負担し、残りの一部を市が負担するので削減余地はない。旅費は、事業遂行のための最小限の予算であるため削減余地なし。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務しか行っていないため、削減の余地なし。 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とし、効率化を図る。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 県地域リーダー育成事業は、広報で一般公募し、また、そこで得た内容は、地域で活かされるので公平・公正である。また、他自治体の研修会も、そこで得たものが合志市主催のイベント等で活かされるので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 県地域リーダー育成については、県主催であり、他のイベントは自治体主催で、そこに参加するので役割分担は適正である。また、懇話会にも男女共同参画について知識を広げるために各自治体のイベントについて案内している。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

県地域リーダー育成事業には1名の市民が参加した。男女共同参画について理解を深める・広めるためには、研修等に参加し続けることが必要である。平成27年度は職員も参加予定である。平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 平成27年度から「男女共同参画まちづくり講座事業」へ統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								